

2017年度 ドコモ市民活動団体助成事業 終了報告書

記入日： 2018年9月13日

活動名	不登校・高校中退の子どもたちの支援者育成プログラム	団体名称	特定非営利活動法人キズキ
		活動テーマ	子どもの健全な育成を支援する活動
		活動の目的	①不登校・ひきこもり・社会的自立支援活動
■活動結果（概要）		■実施スケジュール結果	■各スケジュールごとの活動内容
<p>■不登校・高校中退の子どもたちの学習支援に携わることが希望する方を対象に、支援の手掛かりになる情報を発信するための研修・イベントを開催した。</p> <p>■学生、教員やスクールカウンセラー等の学校関係者、地域住民といった方に、勉強を通じて社会復帰を目指すという弊団体の支援のあり方を伝えることができた。</p> <p>■小規模なワークショップについては計5回、大規模な研修については計3回開催し、のべ150名の方が足を運び、好評を博した。</p>		<p>2017.9-2018.5 2018.3</p> <p>2018.6-8 2018.8</p>	<p>ワークショップを計5回開催</p> <p>精神科医の志村哲祥氏をお招きし、「子どものメンタルヘルスと睡眠」に関する研修会を開催</p> <p>弊団体ウェブサイト内に一般の方向けの情報発信ページを計5ページ新設</p> <p>一般の方向けのイベント「キズキゼミ」を計2回開催</p>
■活動目標	不登校や高校中退、引きこもり等のドロップアウトを経験したとしても、何度でもやり直せることのできる社会をつくる。		
■長期成果	弊団体は、大学等への進学に対応した学習支援に取り組んできた。この支援に関する知見を全国の支援者と共有し、新たな支援者を育成する。これにより、不登校、高校中退等のドロップアウトを経験した子どもたちがもう一度「やり直す」ことを可能にする。		
活 動 風 景			
			
キズキゼミVol.1での講演		キズキゼミVol.2における対談	
			
		キズキゼミVol.2に全国から集まった方々	
■得られた成果と今後の課題		■受益者や地域社会の変化	
<p>（成果） ワークショップや研修を通して、キズキが目指している社会像やそれを実現するための子ども・若者支援に関する情報を発信することができた。ワークショップを計5回、研修を計3回開催し、のべ150名の方に参加いただいた。</p> <p>（課題） 首都圏以外の地方にお住まいの方への情報発信が課題となる。全国規模での発信を強化するため、イベントの様態を動画形式で紹介する、地方でもイベントを開催する、といった手法を検討したい。</p>		<p>「キズキゼミ」の参加者からは以下のようなフィードバックが寄せられており、支援に関心を持つ方の意識や行動に変化をもたらす契機となったと認識している。</p> <p>（参加者からのフィードバック）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「支援は支援者側の価値観の押しつけにならないように『寄り添う』ことを意識していきたい」 ・「子どもたち一人ひとりがどう思っているのかを第一にしている部分がとてもいいと思いましたし、そういう考えを持ってしてくれる人がどんどん広がって増えてほしいと思いました」 	
		■得られたノウハウの共有・発信	
		<p>■「キズキゼミ」の様態を弊団体ウェブサイト上で公開し、その場に足を運ばなかった方にもイベントの内容やキズキの考え方に触れてもらえるようにしている。</p> <p>■本助成事業において試行した「キズキゼミ」が大変好評であったことから、今後も年に数回程度同規模のイベントを開催することで、ノウハウの共有や発信をさらに強化していきたい。</p>	
〒 151-0051 （住所）東京都渋谷区千駄ヶ谷5-29-7 ドルミ御苑202 （団体名）特定非営利活動法人キズキ （ホームページ）： https://kizuki.or.jp/aboutus/outline/			助成金額 500,000円
			助成期間 H29.9.1～H30.8.31

※長期成果とは、活動目標に向かって継続的な事業を進める中で将来得られる活動成果とします。